

2021年3月

【ママやパパたちへ】3月の育ちのころ
「ボクはボクが好き!! 自己肯定感を育もう⑦」

9月から続けている「ボクはボクが好き!! 自己肯定感を育もう」シリーズも、この3月で区切りとなります。区切りにあたって、最後は「これからはこんな言葉を贈ろう」を紹介しましょう。

自己肯定感を育むために、子どもにはこんな言葉を贈りたいものです。

あなたのことが大好き
あなたといると楽しい
あなたがいてくれるだけで幸せ
今日も一緒にいられてうれしい
あなたは私たちの宝物
生まれてきてくれてありがとう。大好きだよ
ママとパパのところに生まれてくれてありがとう
あなたがいてくれて、ママもパパも本当に幸せ
おかえり。無事帰ってきてくれてよかった ……

ちょっと試しに、この言葉を声に出してみてください(ちっちゃな声でいいから)。

(声に出したら)どんな感じですか？

この言葉を言われた子どもの表情が想像できるでしょう。子どもは、きっといい顔をすると思います。そして、もう一つです。

この言葉を言った自分の心は、どんな感じですか？悪くないでしょう？

そう、この言葉を言った私たち自身も、とってもあったかい心になれるのです。

否定的な言葉は、心を冷たくします。でも、肯定的な言葉は、逆に、心をあったかくするのです。

今日からぜひ、この言葉を贈ってあげてください(オトナだって、言ってほしい言葉ですよネ)。

自己肯定感をたっぷり育まれたら、子どもたちはこんな言葉で返してくれることでしょう。

1つのときは なにかかも はじめてだった
2つのときは ぼくは まるっきり しんまいだった
3つのとき ぼくはやっと ぼくになった
4つのとき ぼくは おおきくなりたかった
5つのときは 何から何まで 面白かった
いまは 6つで ぼくはありったけ おりこうです
だから いつまでも6つでいたいと ぼくはおもいます

【6つになった】(「くまのプーさん」で有名な A. ミルンの詩集[いま、わたしは6才]より)

忘れちゃいけないことは、「子どもは必ず応えてくれるヨ!」です。 [園長:飯塚拓也]